

## IAA TRANSPORTATION: ボッシュ、クライメートニュートラルなパワートレインでさらなる成長を目指す 商用車向けパワートレインソリューションの幅広いラインナップ

2022年9月19日  
PI11536 BBM jck/af

- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバーのハイン:「クライメートアクションが貨物輸送をより多様化しています」
- ▶ モビリティソリューションズ事業セクターの売上高の4分の1を占める商用車向けテクノロジー
- ▶ 内燃機関やハイブリッドを含むバッテリーEV、燃料電池、そして水素エンジンに至るまで、幅広い商用車向けパワートレインの製品ポートフォリオを展開

シュトゥットガルト／ハノーバー(ドイツ)– クライメートアクション、コスト上昇からドライバー不足まで、世界の運輸・物流業界が非常に大きな課題に直面する中、ボッシュはこれらの課題に対処する適切なソリューションを提供します。気候変動に左右されない貨物輸送の目標に向けて、ボッシュはパワートレインの製品ポートフォリオを着実に拡大しています。ボッシュは、商用車で今後も重要な役割を担うディーゼルパワートレインに加えて、ハイブリッドを含むバッテリーEV および燃料電池パワートレインも提供しています。またボッシュは現在、特に重建設車両や農業機械向けの代替パワートレインにおけるギャップを埋めるために、水素エンジンというもうひとつの選択肢も取り入れています。「クライメートアクションが、貨物輸送をより多様化しています。代替パワートレインが今後10年間でボッシュのビジネスを大きく成長させると期待しています」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー兼モビリティソリューションズ事業セクター統括部門長のマルクス・ハインは、ハノーバーで開催された「IAA TRANSPORTATION」のプレスカンファレンスで述べています。世界中が不確実性に満ちている中で、ボッシュのモビリティソリューションズ事業セクターの今年の売上高は、現時点で為替調整後6%増となっています。ボッシュの売上高の4分の1は、小型商用車から40トントラックに至るまでの商用車向けテクノロジーで占めています。またパワートレインに加え、運転支援システムとネットワーク化も、ボッシュの商用車向け事業の柱となっています。

## 商用車のパワートレインに新たな選択肢を追加

ポッシュでは、2025年時点で重量6トン以上のトラック全体の80%以上が、依然としてディーゼル車であると予測しています。その後パワートレインの多様化が進み、2035年までには新型商用車の半数がハイブリッドを含むバッテリーEVもしくは水素を動力源とする電気自動車になる見通しです。「特定の技術に依存しない技術中立的なアプローチは、商用車において特に有効です。用途に応じて、トラックのパワートレイン向けに複数のクライメートニュートラルな選択肢が用意されるでしょう」とハインは述べています。ポッシュでは、3,400名ものエンジニアが未来のトラック向けパワートレインの開発に取り組んでいます。eBikeから建設機械まで、そしてSiC(炭化ケイ素)チップから駆動モジュール式にまで、eモビリティにおいてポッシュほど多くの選択肢を提供している企業はありません。そしてこの戦略は、実を結びつつあります。ポッシュはすでに電動パワートレインについて複数のメーカーから30件におよぶ大量受注を獲得しています。ポッシュはまた、燃料電池についても大きな計画があります。ポッシュでは2025年までに4万台以上のポッシュ製燃料電池システムを市場に投入することを目標としています。この目標を支えるために、ポッシュはスタック自体も自社で製造しており、特にアンダーソン(米国)、無錫(中国)、バンベルク(ドイツ)の工場において、顧客の近くでグローバルな生産能力を確立しています。水素を利用するトラックの動力源は燃料電池だけでなく、水素エンジンもあります。ポッシュはこれらのエンジンに必要な制御ユニットと燃料噴射テクノロジーを開発しており、すでにインドで主要なプロジェクトを獲得しています。

## 自動運転トラックの開発を促進

ポッシュはハードウェアだけでなく、ソフトウェアにおいても本領を発揮しています。モビリティソリューションズ事業セクターで研究開発に携わる従業員の半数は、ソフトウェアエンジニアで、とりわけ自動運転の開発を促進しています。ポッシュでは1,100名のエンジニアが自動運転に取り組んでおり、ソフトウェア、センサー、車載コンピューター、アクチュエーターをワンストップで提供しています。「深刻なドライバー不足により、自動運転の開発が加速しています。商用車ほど自動運転が経済的に理にかなっているものはありません」とハインは言います。欧州ではすでに40万人のドライバーが不足しています。ポッシュは2030年までに高速道路におけるドライバーレス運転の実現を目指しています。2025年には、センサーデータをリアルタイムで処理できる車載コンピューターが欧州のトラックメーカーで大量生産される予定です。ポッシュの技術は将来の商用車のE/Eアーキテクチャを大幅に強化し、ソフトウェアデファインドトラックの基盤を提供します。自動運転に向けた道筋では、ポッシュは運転支援システムで好調な業績を上げています。その最たる例は、トラック向けのコーナーレーダーセンサーです。この市場は、今後数年間で40%の成長が見込まれている中、ポッシュにおいては60%近い成長を見込んでいます。ここでのポッシュの取り組みは、商用車による交通事故を防止するための法的要件を含む、さまざまな要因によって推進されています。たとえばターンアシスト機能は、2024年から欧州では必須の機能になります。

## 物流管理プラットフォームの導入を準備中

貨物輸送の未来に関する取り組みにおいて、ポッシュはボンネットの向こう側にも目を向けています。ポッシュは米国を拠点とするクラウドプロバイダーのアマゾン ウェブ サービス(AWS)と協力し、自社の物流管理サービスだけでなくサードパーティのサービスも一元管理できるソフトウェアプラットフォームの運用に取り組んできました。これらのソリューションを統合することは、業務効率の向上に貢献します。世界中の物流会社や貨物運送業者は、現在利用している複数のソリューションをそれぞれ単独で使用する代わりに、ワンストップのデジタルサービスに素早く簡単にアクセスできるようになります。「今後、数週間以内にインドで物流管理プラットフォームを導入し、来年の初めには欧州と米国で導入する予定です」とハインは述べました。輸送と物流管理産業向けのポッシュのサービスのひとつは、物流管理の監視です。ポッシュ サービス センターは、年間3~4万台のトラックに積み込まれている重要な物資や医療上不可欠な物資を監視しています。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの間、ポッシュはワクチン出荷の監視も担当しました。また、トラックの駐車スペースを予約できるサービスである、トラック向けの安全駐車サービスも高い需要があります。ポッシュはすでに欧州 11か国の高速道路沿いに 100 箇所の適切なエリアを提供しています。2021 年だけでも予約は 3 倍になりました。ポッシュはまた、2023 年に発売予定の商用車向けキーレスアクセス システムの後付けソリューションを含めたサービスラインナップを拡充しています。

**報道用画像:** #964e46a8, #b7745a68, #48045f4c, #07b401cb, #beb6b559, #13da3717, #55f9cd1f, #3812e82b

## Contact person for press inquiries:

Jennifer Kallweit

Phone: +49 711 811-42239

Twitter: @JCKallweit

## IAA カンファレンスにおけるポッシュのエキスパートとのパネルディスカッション:

- **9月20日(火)14:15~15:15(CEST)、業界フォーラム:**  
プレゼンテーション「マルチブランド商用 EV フリートの運用上の課題管理について」ロバート・ポッシュ GmbH バッテリービジネスユニット担当シニアバイスプレジデント Michael Köhler
- **9月20日(火)17:30~17:45(CEST)、メインステージ:**  
基調講演:「未来の輸送のためのパワートレインソリューション」  
ロバート・ポッシュ GmbH 商用車およびオフロード製品管理担当バイスプレジデント Jürgen Hausser
- **9月21日(水)17:00~19:00(CEST)、Cummins ブース(ホール 20、ブース A12):**

「水素エンジンに関するオープンダイアログ」

ロバート・ボッシュ GmbH ディーゼルパワートレイン エンジニアリングシステム  
Andreas Kufferath

● **9月22日(木)11:30~12:00(CEST)、メインステージ:**

プレゼンテーション「ロジスティクスのグローバルデジタイゼーション」

ロバート・ボッシュ GmbH プログレッシブモビリティプレーヤー担当エグゼクティブ  
バイスプレジデント Mariella Minutolo

**国際モーターショー「IAA TRANSPORTATION 2022」のボッシュのハイライトは以下  
をご覧ください。** [www.bosch-iaa.com](http://www.bosch-iaa.com) および Twitter: @BoschPress、#BoschIAA

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2021年の売上高は453億ユーロで、グループ総売上高の58%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle(車車間)およびVehicle-to-Infrastructure(路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2021年の従業員数は約40万2,600人(2021年12月31日現在)、売上高は787億ユーロ(約10.2兆円)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界128の拠点で約7万6,100人の従業員が研究開発に、そのうち約3.8万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

\*2021年の為替平均レート、1ユーロ=129.8855円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube(日本語)